

東大野球部メールマガジン Vol.208

ごあいさつ

厳しい寒さが続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

弊部では 12 日(土)の根津神社参拝をもって本年の練習を開始いたしました。春季リーグ戦での勝利を目指し、日々練習に励んでおります。また、東京大学では現在期末試験を迎えており、選手は練習と試験勉強の両立に勤しんでおります。

今後とも温かいご声援のほどよろしくお願いいたします。

今回の特集 「地元自慢」

今回の特集は、「地元自慢」です。選手に地元の紹介とともに、東京に負けないところについて語ってもらいました。

廣納 敬太（新 4 年・内野手・茨木）

こんにちは、新 4 年内野手の廣納です。私の地元は茨木(大阪府)です。東京に来てから間違えられることが多いですが、茨城ではありません、読み方は同じですが茨城ではなく茨木です。そんな茨木の地元自慢ですが、母校(茨木高校)の前身である茨木中学校に纏わるエピソードを紹介したいと思います。

『伊豆の踊子』で知られる川端康成が茨木中出身であることは昨年の模造紙企画*1 で紹介しましたが、「日本で初めて〇〇が作られたのは茨木中だった」ことは知らない方も多いかも知れません。茨高の正門をくぐると黒い大きな石碑が建っています。《近代水泳発祥之地》茨木中が日本で初めて学校にプールという概念を持ち込みました。1916 年に生徒らの手作業で初めて校内に水泳場が作られ、ちょうど東大野球部が創部した 1919 年には長さ 50m の正式なプールに改修されま

した。その後茨木中のプールからは多数のオリンピック選手が輩出され、水泳日本の礎を築いたと言われています。ちなみに現在は、創立 100 周年を記念して作られた新プールとなっています。

*1 模造紙企画とはリーグ戦時に応援席入口にて行っている企画のこと。



野村 優太（新 3 年・投手・仙台二）

こんにちは。新 3 年投手の野村です。私の地元仙台は、緑が豊富で広々とした街並み、それでいていろいろな店があつたりして生活に困らないので、とても住みやすいです。夏も涼しいです。(強いていえば、電車の路線数が圧倒的に少ない。)もし観光で訪れるなら、クリスマスシーズンに光のページェントを見に行くといいでしょう。そこらのイルミネーションとは比べ物にならないくらいの規模なので、景色が心に焼きつくと思います。



須川 隼（新3年・外野手・富山）

僕の故郷、富山県は三千メートル級の山々が連なる立山連峰と、美味しい魚介類が採れる富山湾に囲まれた自然豊かな県です。立山は見てよし、登ってよしの素晴らしい山なので、写真好きの方や登山好きの方には特にオススメです。

また富山市は環境未来都市に指定され、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を進めており、市街地の活気も生まれてきています。

北陸新幹線で通過するだけでなく、富山で下車する人が増えることを願っています。



櫻木 隼之介（新2年・外野手・鶴丸）

鹿児島県鹿児島市出身の櫻木です。鹿児島は昨年では大河ドラマ『西郷どん』で話題になりました。鹿児島といえばやはり桜島でしょう。僕の実家は桜島から海を挟んだところにありますが、晴れた日に見える桜島の姿はとても美しいです。また、県内には種子島と内之浦の2カ所にロケット発射場があります。運がよければ打ち上げのロケットロードが見られ、写真のような幻想的な光景を見ることもあります。東京とは違った魅力がある鹿児島県、行ったことのない方は時間があれば是非行ってみてください！

お年球企画の答え

前回のメルマガで配信いたしましたお年球企画に、今年もたくさんのご応募を頂きました。ありがとうございました。クイズの正解を発表いたします。

Q1.6人

（廣納内野手、櫻村学生コーチ、辻村真樹学生コーチ、野村投手、横山投手、須川外野手）

Q2.石元内野手

Q3.100周年

でした！

正解された方々、おめでとうございます。抽選の結果は既にメールでお送りしておりますので、応募

してくださった方は必ずご確認ください。

お年球企画は来年も行う予定ですので、どうぞお楽しみに！

編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

次回は「転生」と題して、もしも生まれ変わる
ことができるとしたら誰になりたいかについて教えて
もらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。